

会 議 録

審議会等名	令和3年度 第2回三条市文化芸術振興に関する懇談会
開催日時	令和3年11月11日(木) 午後7時から8時30分まで
開催場所	中央公民館 3階 講義室
出席者氏名	委 員 佐藤隆司委員、橋本良嗣委員、坂井マチ子委員 西村邦明委員、田村和豊委員、永桶康子委員 鶴巻純子委員、椛澤伸治委員、池浦倫之委員 佐久間陽子委員 三条市 恋塚生涯学習課長、笹倉生涯学習課長補佐 岡田生涯学習推進係長、中野一般任用主事
欠席者氏名	なし
議題	(1) 正副会長の選出について (2) 令和4年度の若手芸術家支援事業の候補者について (3) 文化振興基金の今後の活用方法について
恋塚課長	あいさつ
自己紹介	委員、事務局自己紹介
正副会長の選出	(1) 正副会長の選出について 互選により会長に田村和豊委員、副会長に鶴巻純子委員が選出
田村会長	議題(2)令和4年度の若手芸術家支援事業の候補者についての審議に入る前に、事務局からあらためてこの事業の趣旨、選定基準及び過去に支援を受けた若手芸術家について説明をお願いします。
岡田係長	若手芸術家支援事業の趣旨といたしましては、全国規模の伝統ある公募展などで優秀な成績を有する本市在住の若手芸術家を支援するため作品展等を開催し、市民及び広く市内外に作家活動を発信することにより三条市の魅力をアピールするものです。 選定基準といたしましては、 ・年齢は50歳前後まで ・全国規模の伝統ある公募展等で優秀な成績を有するなど顕著な活躍があること。 ・市内在住であること。ただし、該当者がいない場合は市出身者も可能となっております。 これまで支援を決定した若手芸術家につきましては、 第1回(H25年度) 書道 中村 暢子 さん 第2回(H26年度) 書道 阿部 嘉美 さん 第3回(H27年度) 銅版画 鶴巻 貴子 さん 第4回(H28年度) 書道 檜川 鋳研 さん 第5回(H29年度) 洋画 中村 信 さん 第6回(H30年度) 洋画 渡邊 美保子 さん 第7回(R元年度→R2年度に延期) 金工 須佐 真 さん 第8回(R3年度) 打楽器 本間 美恵子さん

	<p>となっております。分野別では、書道が3名、銅版画が1名、洋画が2名、金工が1名、音楽1名となっております。</p> <p>なお、令和3年度の若手芸術家支援事業につきましては、3月11日（金）から14日（月）まで、三条東公民館で、パーカッション奏者の本間美恵子さんによる演奏や楽器の展示を行う予定です。</p> <p>詳細が決まりましたら、委員の皆様にご案内させていただきます。</p>
田村会長	洋画の高井将行さんを推薦された三条美術協会選出委員から、候補者について紹介をお願いします。
池浦委員	高井将行さんは、三条市出身で光風会展での入賞、日展での入選実績があり、若手芸術家支援事業の趣旨にふさわしい芸術家であることから、推薦するものです。
佐藤委員	50代半ばですが、50歳前後という基準に合致しますか。
岡田係長	あくまで目安であり、芸術分野ごとに異なるものと考えますので、50代半ばでも問題ありません。
田村会長	それでは、令和4年度の若手芸術家支援事業の支援を受ける芸術家としては、高井将行さんでよろしいでしょうか。
	(出席委員から異議なしの声)
田村会長	異議がないようなので、本懇談会としては、令和4年度の若手芸術家支援事業の支援を受ける芸術家は、高井将行さんに決定します。
椛澤委員	令和3年度の若手芸術家支援事業の芸術家は本間美恵子さんで三条東公民館を会場として予定しているようですが、体育文化会館の方が良いのでしょうか。
岡田係長	本間美恵子さん御本人の要望をお聞きした結果、体育文化会館より三条東公民館の方が良いということでした。本間さんはマリリンバの演奏を始め、世界各国の打楽器の展示など予定されており、三条東公民館の方が自分の芸術を表現するのにふさわしいと仰っていました。
田村会長	議題(3)文化振興基金の今後の活用について説明をお願いします。
岡田係長	<p>文化振興基金は、市民からの寄附を基に三条市に文化会館を建設するために設置した文化会館建設基金を原資として、平成22年に「市民の文化振興に資する事業の推進及び文化施設の整備を図る」ことを目的に設置されたものです。</p> <p>現在、若手芸術家支援事業、青少年文化振興事業（わくわく文化未来塾）、芸術鑑賞ツアーに充当しています。</p> <p>文化振興基金の目的に照らせば、ソフト事業、ハード事業にかかわらず、様々な活用が可能と考えられますので、今後、文化振興基金を活用した新たな取組について御提案いただけますと幸いです。</p> <p>なお、田村委員から事前に事務局に対して、中央公民館大ホールの舞台機構の操作に習熟し、利用者のニーズに応じた使い方が提案できる人材を、例えばシルバー人材センターへの講習実施や委託を通して育成してはどうかと御提案がありました。</p> <p>これを受け、事務局で検討し、中央公民館大ホール操作を補助していただける方を、シルバー人材センターから派遣していただくための予算を令和4年度予算要求しているところでございます。ただし、公</p>

	<p>民館施設の管理の範疇であるため文化振興基金の活用ではなく公民館管理費での要求となります。これから財務当局による予算査定と3月議会での審査があり実施については確約できませんが、公民館利用者の利便性向上のために善処したいと考えております。</p>
田村会長	<p>文化振興基金の今後の活用について、意見はありませんか。</p>
西村委員	<p>芸術鑑賞ツアーは、平日日中が空いている人でないと参加が難しいと思います。東京ばかり行くのではなく、県内など身近なところに行くのも良いと思います。また、ツアー参加者から三条市の文化振興に役立つように何らかの形で関わってほしいです。</p> <p>また、芸術分野で頑張っている素敵なお方に対する支援として、コンサートを無料で開催してあげるのも良いと思います。</p> <p>文化振興基金を既存の事業の維持のために延々と取り崩し続けるのは違うと思います。</p>
鶴巻副会長	<p>芸術鑑賞ツアーの回数が多いのではないのでしょうか。前は7回もなかったと思います。</p>
田村会長	<p>子どもたちの芸術鑑賞の機会を創ってほしいです。</p>
岡田係長	<p>青少年文化振興事業としてわくわく文化未来塾を毎年開催しています。これは小学生から高校生までの子どもたちが、公民館などを会場に絵画や茶道、踊り、生け花、書道などの文化的な講座を気軽に無料で体験できる事業です。講師は公募しており、文化団体協会加盟団体を始め、一般の方からも講師として協力いただいております。</p>
佐久間委員	<p>学校で子どもたちに文化活動を指導いただいたり、子どもたちを公演に招待するというのも良いのではと思います。</p>
佐藤委員	<p>文化団体協会では、様々な文化活動を行っている団体の講師が学校へ出向いて教えることもできます。</p>
田村会長	<p>永桶委員からエラーールピアノについて説明をお願いします。</p>
永桶委員	<p>三条東高等学校の同窓会が同校に寄贈し、長年同校に保管され、現在修理に出しているフランスのエラーール社製のフルコンサート用グランドピアノがあります。エラーール社は約 250 年前に創業したピアノメーカーで、職人による手作りのこのピアノは、現代工業製品では作り上げることのできない色彩感のある人の心に溶け込んでくるようなとにかく美しい音色が特徴の魅惑のピアノです。</p> <p>エラーール社のピアノは、国内に4台しかありません。三条東高等学校にあったピアノのほかは、赤坂迎賓館（皇室所蔵）、大阪音楽大学「音楽博物館」、びわ湖ホールロビーにあります。</p> <p>三条東高等学校にあったエラーールピアノが修理を終え三条に戻ってくるのは2年後になります。三条に戻ってきた暁には、新しい図書館に置き、誰でも触れるピアノとして活用したいと考えています。</p> <p>文化振興基金からエラーールピアノの調律代を出していただけると助かります。</p>
鶴巻副会長	<p>エラーールピアノのような素晴らしいピアノに係る経費は、文化振興基金ではなく、三条市の予算から支出すべきだと思います。</p>
笹倉補佐	<p>エラーールピアノが三条市の所有でない場合、三条市の予算からの支出は難しいため、所有や管理の方法についてエラーール推進委員会と詰めていきたいと考えております。</p>

池浦委員	エラールピアノは県の財産ではないのですか。
永桶委員	三条東高等学校の同窓会の持ち物となっていますが、今後、エラール推進委員会に所有権が移る予定です。
西村委員	文化振興基金については、細く、長く使えるように、事業充当額の見直しをすべきではないかと思います。
佐藤委員	文化振興基金については、体育文化会館のマルチホールに不足しているものに充当し、同会館を使い勝手の良いものにしてほしいです。
橋本委員	文化振興基金は、基本は減っていくものですので、寄附を募るという考えはありますか。
岡田係長	文化振興基金の原資となった多額の寄附が集まった時期とは現在の状況は異なっておりますので、難しいと思いますが、三条市の文化振興に役立てたいという御意思の方がおられた場合、文化振興基金での受入れをさせていただいております。残額がある限り、有効に活用してまいりたいと考えております。
池浦委員	三条市内には社会貢献のために多額の寄附をされる企業や個人がおられますので、三条市としても企業などに積極的に働きかけてほしいと思います。
坂井委員	芸術鑑賞ツアーは止めた方がよいと思います。これから先ずっと続けるのではなく、来年度を最後に終わりにするとか。
田村会長	ほかに意見はありませんか。 (しばらくしてないため) 色々な意見が出ましたので、事務局ではこれを参考に検討していただきたいと思います。 なお、本日の会議記録につきましては、事務局職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調整し、ホームページで公表させていただきますので御了承ください。 それでは、議題はすべて終了したので、これにて閉会します。